

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1188429
幼稚園名	光塩日野幼稚園

1. 活動のテーマ

【わくわくの森における自然体験】

＜テーマの設定理由＞

隣接する幼稚園のわくわくの森で、日頃のカリキュラムにおける活動や、様々な年間行事を通して、豊かな自然を身近に体験する。

＜活動のための環境整備＞

子どもたちが安全に活動できるよう、専門業者への委託で、枯木の伐採や草刈りなど活動エリアの整備を行った。森の中には、大きな丸太の上を通れる道や、自由に走り回れる広場、枯木で作った秘密基地、そりを楽しむことができる場所など子どもたちの創造性・主体性を刺激する空間を設けた。自然に関する絵本や紙芝居を用意し、事前学習・事後学習に繋げた。

2.活動スケジュール

※場所については別紙参照

	5歳児クラス（年長ばら組）		4歳児クラス（年中ゆり組）		3歳児クラス（年少ほし組）		満3歳児クラス（ひつじ組）	
	日付	場所	日付	場所	日付	場所	日付	場所
1	4月25日(木)	ステージ	4月18日(木)	ほかほか	5月9日(木)	にこにこ	4月25日(木)	ステージ
2	5月9日(木)	にこにこ	5月10日(金)	にこにこ	6月7日(金)	ほかほか	5月10日(金)	にこにこ
3	5月13日(月)	//	5月15日(水)	スカウト	6月14日(金)	にこにこ	5月17日(金)	//
4	5月15日(水)	池・オタマジャクシ	6月13日(木)	にこにこ	11月8日(金)	//	6月7日(金)	//・ソリ
5	5月22日(水)	//	6月14日(金)	//	11月14日(木)	//	6月14日(金)	にこにこ
6	6月14日(金)	にこにこ	7月11日(木)	ほかほか	11月19日(火)	ほかほか	6月27日(木)	
7	7月19日(金)	きらきらカブトムシ	11月7日(木)	にこにこ	11月22日(金)	にこにこ	7月11日(木)	にこにこ
8	9月19日(木)	きらきらカブトムシ	11月22日(金)	//	11月29日(金)	//	10月31日(木)	キラキラ
9	1月10日(金)	にこにこ	11月29日(金)	にこにこ	12月5日(木)	//	11月19日(火)	ソリ ほかほか
10	2月5日(水)	合同 △にこにこ	12月5日(木)	スカウト にこにこ	1月16日(木)	//	11月22日(金)	スカウト
11	3月7日(金)	にこにこ	12月17日(火)	にこにこ	1月23日(木)	//	1月23日(木)	ほかほか
12			2月17日(月)	にこにこ	1月24日(金)	キラキラ	1月28日(火)	にこにこ
13			3月11日(火)	ほかほか	1月31日(金)	//	2月5日(水)	スカウト
14					2月20日(木)	//	2月14日(金)	//
15							3月10日(月)	アスレチック ほかほか

3.探究活動の実践

【5歳児クラス 年長 ばら組】

<活動内容>

- ・年間を通してわくわくの森を散策し、四季の変化を感じた。
- ・そりすべり・落ち葉遊び・ハンモック・ブランコ・木の実拾いなど、山の中で遊んだ。
- ・おたまじゃくしの観察や、カブトムシの幼虫を育てるなど、生き物と触れ合った。

<活動のための工夫>

- ・図鑑や絵本を読み、子どもたちに四季の変化を伝えたくて活動に望んだ。
- ・事前に山でしたいことを子どもたちに問いかけ、活動に取り入れることで、子どもたちの主体的な活動に繋がった。



【4歳児クラス 年中 ゆり組】

＜活動内容＞

- ・子ども自身が自分で見つけた木の実や枝・葉っぱなどで制作物を作った。
- ・ドングリが拾える時、落ち葉が多い時、緑がきれいでも山で虫を見つけることができる時、木の実がなっている時など、自然と沢山触れ合えるタイミングに合わせて山での活動を行った。

＜活動のための工夫＞

- ・それぞれが見つけたドングリ・花・落ち葉・虫などを共有することで、子ども同士の関りを促し、別の遊びに繋げられるようにした。



【3歳児クラス 年少 ほし組】

＜活動内容＞

- ・定期的なわくわくの森でのお散歩を通して、自然の中の草木や虫、木の実などに興味を持つことができた。
- ・カップケーキの土台を作り、自分たちで拾ってきた木の枝や実、葉っぱで自由に飾り付ける制作活動をした。

＜活動のための工夫＞

- ・他学年との交流など子ども同士での活動を通して、自分が興味を感じる物の発見を促した。



【満3歳児クラス（年少に含む） ひつじ組】

＜活動内容＞

- ・山の中の雰囲気を感じながら、散策バックを持ち山を探索し、枝や木の実、葉っぱなど気になった物を拾って持ち帰った。
- ・山に慣れるため、体を沢山動かして森の様々なルート散歩した。
- ・保育者が見守る中で、範囲を決めて自分が好きなものを探すという探索をした。

＜活動のための工夫＞

- ・縦割りによる山の活動日など、他学年との交流の機会や、山での活動を通して友達同士で協力することを促した。





4.振り返り

＜振り返りによって得た先生の気付き＞

【5歳児クラス 年長 ばら組】

- ・わくわくの森で、楽しかったことを話題にし、次に何をしたいか期待を持たせることができた。
自然物を使った制作では、わくわくの森での活動内容を思い出させるように、声掛けをした。
- ・カブトムシなど、幼稚園で育てた生き物を子どもたち自身で山に返すことで、命の大切さと自然の繋がりを感ずることができた。

【4歳児クラス 年中 ゆり組】

- ・子どもたちの成長に応じて、少しずつ活動場所・時間・内容を、子どもたちが満足できるな内容に設定を変えて行った。
- ・紙芝居や絵本で出てくる実や葉の実物を体験することで、より身近に感ずることができた。

【3歳児クラス 年少 ほし組】

- ・子どもたちの制作活動の幅を広げるためにも、木の実などを事前に集めて、保存方法も研究したい。
子どもがわくわくの森の素材で作った作品を持ち帰ることで、わくわくの森について保護者との共有が進んだ。
- ・わくわくの森での活動中、保育者が子どもたちに「〇〇を見つけたよ」と声を掛けることで、子どもたちが友達同士と一緒に様々な発見をし、見つけた喜びを分かち合うことに繋がった。

【満3歳児クラス（年少に含む） ひつじ組】

- ・子どもがどんなものに興味を示したか、写真等の記録を元に検討し、次の保育計画に活かした。
- ・わくわくの森の散策で、保育者が積極的な誘導をしないことで、子ども自身がそれぞれ興味があるものを発見できた。

【全体的な気付き】

- ・暑さが厳しくなっているため、わくわくの森で活動しやすい時期が決まってくる。年間カリキュラムでの計画が重要。
- ・季節によって興味を持つものが変わったり、同じ自然物でも新たな発見をしたりと、子どもの興味関心が変化していくことを感ずた。
- ・自然を大切にする気持ちや、自然の中に身を置くことの心地よさを感ずているか、自然に対する愛着が深まっている様子が観察できた。
- ・本当の自然の中での、様々な生き物との触れ合いを通して、生命の尊さや大切さへの理解や、生命に対する思いやりが育まれていることが感ずられた。
- ・安全には配慮しながらも、子どもたちの自主性を尊重し、自ら考え、行動できるような環境づくりを意識することができた。

以上